

平成28年度 第2回 櫛引地域振興懇談会

日 時 平成29年3月15日(水)

午後3時00分開会

場 所 王祇会館 ホール

— 次 第 —

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 櫛引庁舎重点施策について

4 そ の 他

5 閉 会

平成28年度 櫛引地域振興懇談会 委員名簿

任期：平成27年6月1日～平成29年3月31日

No.	所属団体名等	役職名または職業	氏名	備考
1	櫛引区長会	会長	成田 勇	会長
2	櫛引自治公民館連絡協議会	会長	木村 英俊	
3	庄内たがわ農業協同組合	理事	成田 新一	
4	出羽商工会櫛引支部	代表理事	武田 啓之	
5	櫛引観光協会	会長	小林 良市	
6	櫛引地区民生児童委員協議会	会長	遠藤 勉	
7	櫛引地区PTA連合会	副会長	成田 靖	
8	鶴岡市櫛引体育協会	会長	佐藤 正幸	
9	公益財団法人黒川能保存会	業務執行理事	上野 由部	
10	鶴岡市老人クラブ連合会櫛引支部	支部長	佐藤 治郎作	
11	櫛引地域婦人会	会長	清和 ふみ子	副会長
12	(民宿知憩軒・主宰)	自営業	長南 光	
13	(秋山工務店・代表)	自営業	秋山 篤司	
14	(鶴岡市農業委員)	農業	重松 美鈴	
15	(ハミングデザイン・代表)	自営業	宮城 良太	

【出席職員名簿】

No.	所属	役職名	氏名	備考
1	櫛引庁舎	支所長	榊原 賢一	
2	櫛引庁舎	総務企画課	課長 佐藤 浩	
3	櫛引庁舎	市民福祉課	課長 天然 せつ	
4	櫛引庁舎	産業課	課長 宮崎 哲	
5	建設部	南部建設事務室	室長 上野 衛	
6	企画部	地域振興課	地域振興専門員 本間 育子	
7	櫛引庁舎	総務企画課	総務地域振興専門員 大宮 将義	事務局

平成 29 年度 櫛引庁舎重点施策について

Ⅰ 櫛引庁舎の主な取組み

1. 櫛引の特性を生かした地域振興

櫛引地域では、少子高齢化の進行や社会経済状況の変化を踏まえつつ、基幹産業である農業の振興と豊かな歴史文化資源の継承、活用を基本として、地域振興ビジョンの三つの柱にもとづく各種プロジェクトを一体的に推進する。

(1) フルーツの里づくり

櫛引地域農業の強みである果樹生産を一層振興し、観光果樹園や加工、直売の6次産業化も促進しながら、地域農業の活性化を図る。

- ・国の果樹経営支援対策事業など各種支援策による生産の振興
- ・担い手育成、組織化に向けた調査研究活動への支援
- ・「フルーツの里」ブランド化支援事業

(2) グリーン・ツーリズムと観光の推進

農業体験や農家民宿、産直、観光果樹園などと、自然や歴史文化などの地域資源を活用したネットワークを形成し、交流人口の拡大を図る。

- ・都市農村交流促進事業
- ・地域資源活用農家民宿支援事業
- ・くしびき夏のイベント推進事業
- ・温泉入浴施設及び市営スキー場の適切な管理運営の推進

(3) 歴史と文化の里整備

黒川能や丸岡城跡などの貴重な歴史文化資源と、これらの連綿とした地域の伝承活動を確実に保存継承しながら、さらに価値を高めていく取り組みを推進する。

- ・黒川能保存伝承支援事業
- ・能楽青年交流事業
- ・丸岡城跡史跡公園利用促進事業

2. 地域コミュニティの活性化

(1) 地域コミュニティ機能の維持・充実

少子高齢化の影響や地域への帰属意識の低下等により集落機能の弱体化が進んでいる状況から、櫛引地域の特性や資源を生かし、コミュニティ機能の維持、充実に向けた取り組みを推進する。

- ・ケーブルテレビジョンによる地域情報化の推進

(2) 協働の地域づくりの推進

地域の声と力を活かした地域づくりを推進するための仕組みや議論の場づくりに努めながら地域課題解決に向けた住民主導の取り組みを支援する。

- ・ 地区担当職員による集落懇談会等の開催
- ・ 車座ミーティング、地域振興懇談会の開催
- ・ 若者による「こしゃってマルシェ」等の地域活性化イベントへの支援



3. 行財政改革の推進

行財政改革大綱の実施計画及び推進プランに基づき、事務事業や公共施設の見直しについて、地元自治組織や関係団体等の理解と協力を得ながら取り組みを進める。

- ・ 櫛引公民館の機能・運営手法の見直し（指定管理者制度の導入）
- ・ ほのかたらのきだいい、たらのきだいいスキー場、くしびき温泉ゆ〜Townの施設のあり方検討

II. 各課の主な取り組み

【総務企画課】

(1) 丸岡城跡史跡公園管理運営事業

山形県史跡「丸岡城跡」と鶴岡市有形文化財「日向家住宅」を移築復元したガイダンス施設を保存、活用して、文化財保護の普及と啓発を図りながら、地域の歴史や伝統文化の継承活動、観光誘客などに活かして地域活性化を推進する。

- ・ ガイダンス施設（楽朋館）を含む丸岡城跡史跡公園の管理運営
- ・ 荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会の支援



(2) 丸岡城跡史跡公園利用促進事業（地域活性化事業）

平成 28 年 7 月に開館した楽朋館の利用促進を図るため、文化財や歴史等について学び、活かす場を作りながら交流人口の拡大を図る。また、顕彰する団体の活動を支援することで、文化財等の保存継承に対する機運の高まりを促進する。

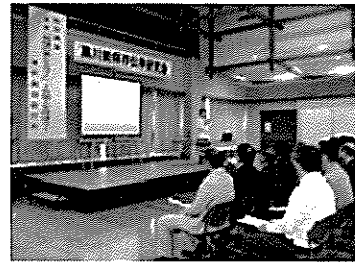
- ・ 観光ガイド養成と歴史講座
- ・ 加藤家三代ゆかりの地の交流会

(3) 黒川能保存伝承支援事業（地域活性化事業）

櫛引東小学校児童への仕舞や囃子の指導と練習成果の発表などを通じて、伝統芸能への誇りや郷土愛を育み、後継者育成につながる事業を支援する。

また、黒川能にゆかりのある識見者の講演などによる「黒川能保存伝承研究会」を支援して、黒川能の価値認識を深め、青年、女性を含めた住民各層の関わりを強めることで、保存伝承に対する機運の醸成を図る。

- ・後継者育成事業
- ・第10回黒川能保存伝承研究会（11月下旬予定）
黒川能伝統食のアレンジメニューづくりと講演会



(4) 黒川能保存伝承組織の支援

黒川能の保存伝承について、就業構造の変化や少子高齢化が進行する環境の中であって、意欲的な活動を展開している「公益財団法人黒川能保存会」や「黒川能上座・下座」に対して、安定した組織運営となるよう継続して支援する。

- ・黒川能保存会運営補助金、黒川地区農業村落振興会後継者育成事業補助金



(5) 能楽青年交流事業（地域活性化事業）

首都圏の大学生や青年の能楽研究会などの合宿や練習会を誘致し、黒川能役者との交流の場を設けることで、能楽を志す者どうしの人的交流と情報発信を行い、黒川能の伝承促進に向けた事業に対して支援する。

- ・国学院大学能楽研究会を受入れ予定
稽古は黒川能伝習館能舞台、宿泊は農家民宿、王祇会館での交流会



(6) 若者グループによる活動への支援

平成28年11月に「2016やまがた公益大賞」を受賞した鶴岡まちづくり塾櫛引グループが季節ごとに開催する「こしゃってマルシェ」や、県の緑環境事業補助金を活用した「森と木のべんきょう会」など、地域の魅力を高める活動に対して支援する。

- ・こしゃってマルシェ 春・夏・秋・冬
- ・森と木のべんきょう会



(7) 地域づくり懇談会の全地区開催

地区担当職員を21地区（集落）に3名ずつ配置し「地域づくり懇談会」を全地区で開催する。形骸化しないように各地区の要望を把握し、テーマを工夫して、地区民と地区担当職員の意見交換が充実するように取り組む。

【市民福祉課】

(1) 健康づくり、介護予防事業の推進

健康寿命の延伸を図るため、保健福祉推進員や食生活改善推進員と連携し、がん検診及び健診の受診率向上と生活習慣病予防、高齢者の介護予防事業を推進する。

また、こころの健康づくりの重点地域の指定を受けていることから、引き続き正しい知識を備えた「こころの健康づくりサポーター」の育成に努める。

- ・ 櫛引地域健康と福祉のつどい
- ・ 各地区健康教室（櫛引地域保健福祉推進員会と共催）
- ・ こころの健康づくりサポーターの育成
- ・ 櫛引地域いきいき健康クラブ運営事業の委託
- ・ KCT番組「健康ワンポイント」及び「みんなの貯筋（ちょきん）体操」（櫛引・朝日版テレビ体操）の放映

(2) 子育て支援の推進

平成 28 年度から全市事業として実施している「ことばの教室」について関係機関等との連携により就学前児童の言語環境の改善に取り組む。

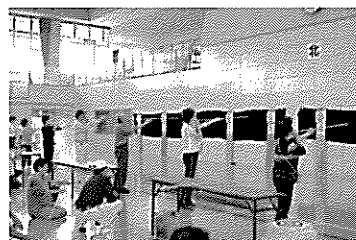
また、子育て支援機能の充実を目指して地域の子育てに関する課題等について関係機関の情報共有を図る。

- ・ ことばの教室（子ども家庭支援センター主管）
- ・ 櫛引子育て支援連絡協議会

(3) 高齢者が生きがいをもって安心して生活できる地域づくりの推進

地域の高齢者を対象とした各種事業の実施を通して、高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、関係機関が密接に連携しながら高齢者の安全・安心な暮らしを支える取り組みを進める。

- ・ 櫛引地域敬老会
- ・ 老人クラブの活動支援（運営及び健康づくり事業）
- ・ 「災害時における要援護者リスト&マップ」の作成・更新
- ・ 「くしびき安心カード」の普及



【産業課】

(1) 「フルーツの里」ブランド化支援事業（地域活性化事業）

観光組織や生産団体、行政等の連携を強化し情報発信することで、フルーツの里としてのブランド化を推進する。紹介所を含む観光果樹園の取り組みを支援し、グリーン・ツーリズムの拠点としてさらなる信用の獲得を目指す。また、園地情報の整備、生



産者と消費者、異業種経営者、新規就農者等を取り込んだ形での情報交換、研修等に取り組むことで担い手育成と6次産業化を推進し、経営の安定を支援していく。

(2) くしびき夏のイベント推進事業（地域活性化事業）

7月の最終土曜日に、第34回となる黒川能野外能楽「水焰の能」を開催し、観光施設や農家民宿とも連携しながら、県内外からの更なる誘客を図る。

連日開催の「くしびき夏まつり 2017」でも地域芸能の発表の場を設定し、各地域の魅力を紹介しながら、農・商・工・観が連携した一大イベントとして櫛引地域の一体感の醸成及び賑わいの創出、地域の活性化を図る。

- ・夏まつり：7月28日(金)※予定
- ・水焰の能：7月29日(土)



(3) 都市農村交流による農産物販路拡大支援事業（地域活性化事業）

横浜市立青木小学校（平成6年～）や神奈川の鎌倉女子大学（平成21年～）との交流を基盤に、出前授業や修学旅行、農業体験の受け入れ、産直販売交流などについて支援を継続する。

- ・青木小の受け入れ：9月24日(日)～26日(火)
- ・ホームステイ、学校交流（櫛引3校）、農業体験（稲刈り、カブ収穫漬け込み、果樹収穫出荷）



(4) 地域資源活用農家民宿支援事業（地域活性化事業）

全国から訪れる黒川能（王祇祭ほか年6回）の観能客などを対象に、四季を通じた宿泊、体験、食のもてなしを提供できる場として、「黒川能の里」ならではの農家民宿による受け入れ体制を構築して地域活性化を目指す。

- ・黒川能の里の会（構成員9人、開業5人）



(5) くしびき温泉ゆ～Town 管理運営事業

施設の安定経営に向け、集客につながる施設や設備の改修も行いながら、地域住民の健康増進と安らぎの場の提供を運営方針とし、利用者の確保に努める。

- ・源泉ポンプ交換整備工事

(6) 櫛引たらのきだいスキー場管理運営事業

ナイター設備や市街地からの近さなど、ファミリー向けスキー場という立地特性を生かしながら、本市のスポーツ・レクリエーションと観光の拠点として安定経営に努める。

- ・圧雪車の更新

【南部建設事務室】 (櫛引庁舎関連)

(1) 冬期間の通勤・通学など生活路線を確保する防雪柵の整備

- ・市道小在家大杉線防雪柵整備事業【継続】

(全体延長 L=700m H28 (繰越事業) L=300m 残 L=120m)

(2) 産業活動を支援する道路ネットワークの整備 (庄内南工業団地内企業産業活動支援)

- ・市道庄南5号線道路改良事業【継続】

(全体延長 L=280m H29 は用地買収・物件補償・工事) 完了予定

(3) その他改良工事等

- ・神明前茶屋川原線表層改良【継続】

(全体延長 L=790m H28 (繰越事業) L=280m H29 は L=180m) 完了予定

- ・山の外小文地楯線道路改良【継続】

(全体延長 L=1,050m H29 は L=90m) 完了予定

- ・道路新設改良単独事業

道路改良 1 路線・舗装改良 2 路線・側溝整備 1 路線・防護柵 1 路線

- ・道路維持事業

舗装補修・側溝補修・交通安全施設整備

平成28年度 櫛引地域振興懇談会委員名簿

【H29.3.15開催】

No.		所属団体名等	役職名または職業	氏名	出欠
1	公 共 的 団 体 等 代 表	櫛引区長会	会 長	成 田 勇	○
2		櫛引自治公民館連絡協議会	会 長	木 村 英 俊	×
3		庄内たがわ農業協同組合	理 事	成 田 新 一	○
4		出羽商工会櫛引支部	代表理事	武 田 啓 之	×
5		櫛引観光協会	会 長	小 林 良 市	○
6		櫛引地区民生児童委員協議会	会 長	遠 藤 勉	×
7		櫛引地区PTA連合会	副会長	成 田 靖	×
8		鶴岡市櫛引体育協会	会 長	佐 藤 正 幸	○
9		公益財団法人黒川能保存会	業務執行理事	上 野 由 部	×
10		鶴岡市老人クラブ連合会 櫛引支部	支部長	佐 藤 治郎作	×
11		櫛引地域婦人会	会 長	清 和 ふみ子	○
12	有 識 者 (公 募)	(民宿知憩軒・主宰)	自営業	長 南 光	○
13		(秋山工務店・代表)	自営業	秋 山 篤 司	×
14		(鶴岡市農業委員)	農 業	重 松 美 鈴	○
15		(ハミングデザイン・代表)	自営業	宮 城 良 太	○